

No. 15-132 第15回リーダーを目指す技術者倫理セミナー
—事故・不祥事の背景から学ぶリスクマネジメント：
技術者の意思決定—

(技術と社会部門, イノベーションセンター 合同企画)

協賛 (予定) 日本技術士会, 可視化情報学会, 計測自動制御学会, 自動車技術会, 精密工学会, ターボ機械協会, 日本計算工学会, 日本航空宇宙学会, 日本塑性加工学会, 日本鑄造工学会, 日本マリンエンジニアリング学会, 日本ロボット学会, 溶接学会, 化学工学会, 日本建築学会, 土木学会, 電気学会, 日本化学会, 電子情報通信学会

開催日 2015年11月21日(土) 10:00~17:00

会場 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター東京 5階501室

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

JR 山手線・京浜東北線 田町駅から徒歩1分

都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅から徒歩5分

<http://www.cictokyo.jp/access.html>

今回のテーマおよび論点

「技術者の意思決定」

これまで、本セミナーでは、おもに技術に関する不祥事、事故を取り上げ、再発防止するためには技術者が設計、製品販売および管理業務等において、疑問に感じたり、安全ではないと思ったりしたときに、どのような対策をとるべきだったかについて、参加者のみなさまと討論してきた。

今回は、個別の事例は、議論のために説明し、課題を出すのが、事例を例題にするのではなく、将来リーダーになる技術者の方々が直面するであろう場面を考えて、業務管理技術者がとるべき行動について討論したいと思う。

事例としては、最近起こった東洋ゴム工業の免震ゴムの偽装を取りあげる。これは、免震ゴムを製造している東洋ゴムの子会社の技術者が、製品の性能に疑問をもってから、東洋ゴム工業がデータ改ざんを報告するまでに2年ほどかかっている。このような場合、技術者はどのように判断・行動すべきか。もう一つの事例としては、山手線の電化柱の倒壊事故を取りあげる。これも、電化柱が傾いていることを確認してから、2日後に倒壊した。確認時点では緊急性がないと判断し、3日後に改修工事を実施する予定であったが、工事の前に倒壊した。

これらに共通するのは、技術者が疑問に思ったり、正常でないことを確認したりしてから、すばやい判断・行動が必要であるということである。

前者は、技術者は「偽装」という不祥事が起きているのに、なぜ、会社の意思決定に反映することができなかったのか？所定の基準を満たしていないことは顧客への契約違反である。また、幸い、報告されるような事故は起きていないが、いつ、リスクが顕在化するかもしれない。

後者は、迅速な判断・行動が必要な重大インシデントである。多くの関係者が電化柱の傾きを認識しながら、なぜ、意思決定できなかったのか？

二つの事例を他社の事例としてではなく、自分が当事者であったならば、このような不確実な状況下で判断・行動することができたか？また、判断・行動するためには、何が必要か？の観点で検討してみたい。

<討論課題>

・不確実な状況下で技術者はどのように判断・行動すべきか、
について、技術者がおかれた立場を考慮し、とるべき行動について全員で討論し、考えてみたい。

セミナーでは、次の手順により議論を進める。

1. 事前に配付された資料により自主学習する。
2. グループワークにおいて、自分の意見を明らかにする。
3. 全体討論において自分の立場を明確にして議論する。

事前に配付する資料を読んで頂いて、参加されることを前提とする。

プログラム

10.00~10.10/セミナーの趣旨説明, 本日の進め方

横浜国立大学 大学院工学研究院 教授 (主査) 高田 一

10.10~10.40/技術者の一般的な意思決定方法, 討議の進め方

オカダ・アソシエーション 技術士 岡田恵夫

10.40~11.30/意思決定の事例紹介

東京工業大学 イノベーションマネジメント研究科 客員教授 中村昌允

11.30~14.00/グループワーク

- ・不確実な状況下で技術者はどのように判断し、行動すべきか。

14.00~17.00/技術者倫理に関する全体討論

KoPEL 技術士 小西義昭

明治大学 理工学部 准教授 村田良美

講師全員

司会 高田 一

定員 30名, 申込み先着順により定員になり次第締め切ります。

参加費 (資料代含) 会員 3,000円, 会員外 5,000円, 参加費は当日会場にて申し受けます。11月6日までに、お申し込み下さい。事前に(11月13日ごろ)E-mailで資料を送信いたします。以降は、定員に余裕がある場合、当日受付いたします。資料配布後のキャンセルはできません。

申込方法 「No.15-132 第15回リーダーを目指す技術者倫理セミナー参加申込み」と題記し、(1)所属学協会、(2)氏名、(3)勤務先・所属、(4)E-mailアドレスを明記の上、E-mailにて下記までお申し込み下さい。

申込先・問合せ先 日本機械学会 技術と社会部門 (担当職員 秋山宗一郎) /E-mail: akiyama@jsme.or.jp /FAX (03) 5360-3508